

(様式1)



山口市

報道資料

令和 3年 8月 12日

1 件 名	～やまぐち子ども未来型学習プロジェクト～ 「100人の先生と考える未来の山口の授業」の開催について
2 日 時	令和3年8月17日(火) 14:30～16:30
3 場 所	山口情報芸術センター内 Studio D (山口市中園町7-7)
4 内 容	<p>本市教育委員会とYCAMが連携した先進教育プロジェクト「やまぐち子ども未来型学習プロジェクト(※1)」の1つである、「100人の先生と考える未来の山口の授業(※2)」を上記の日程で開催します。</p> <p>学校におけるICT教育の取組が本格化する中、情報活用技術の教育への応用に取り組んできたYCAMの知見や、3Dプリンターといったデジタル技術を活用した制作活動等を行ってきたファブラボ山口の創造性等を取り入れ、新しい時代にふさわしい授業のあり方を考えます。</p> <p>(※1)やまぐち子ども未来型学習プロジェクト 教育委員会とYCAMが連携し、山口の子どもたちに、ICT機器の操作方法や情報(メディア)リテラシーの習得を働きかけるとともに、情報を分かりやすく発信・伝達する能力やプログラミング的思考、情報モラルなどの情報活用能力を育み、これからの山口を担う人材の育成をめざす。</p> <p>(※2)100人の先生と考える未来の山口の授業</p> <p>①目的:各小・中学校へ配備された1人1台端末の活用方法をはじめ、各教科等の授業における指導のあり方を研究することをとおして、児童・生徒の情報活用能力の育成を担う教員の指導力向上を図る。</p> <p>②内容:学習用端末「Chromebook」及びGoogleが提供するクラウドサービスやアプリを利用して、リアルタイムに情報を共有しながら収集、整理・分析、編集、発表等の演習を行う。</p> <p>③今後の予定:8月末までの夏季休業中に、5回(各20名)の研修講座を実施し、計100名の教員が参加する。</p> <p>④講師プロフィール □菅沼 聖(すがぬま きよし) YCAM 社会共創ディレクター/エデュケーター 山口情報芸術センター[YCAM]で研究機関、自治体、企業などとの共創事業を担当。YCAMがメディアアートのクリエイションで得る知見を応用し、多様なコラ</p>



山口市

ボレーターと共に社会に新たな価値を創出する共創の枠組みづくりに取り組む。
また、エドゥケーターとして教育プログラム、地域コミュニティプログラムの研究開発に関わる。

□河川 隆 (かわぐち たかし)

株式会社アワセルブス代表取締役

山口県よろず支援拠点コーディネーター

デジタルハリウッド STUDIO 山口トレーナー

業務提案から IT トrendまで、広くカバーするゼネラリスト志向エンジニア。

山口市で誰もがものづくりを楽しめる市民工房「ファブラボ山口」を運営。

マインドフルネススペシャリスト。

「第1回研修講座の様子」



5 出席者 山口市立小・中学校教員：各回約20名、YCAMスタッフ

6 問い合わせ 山口市教育委員会事務局 学校教育課 TEL (083) 934-2863